

# データ入力フォームの作成

Professional エディション 以上

## 目次

利用例 1 .....	1
設定方法 .....	2
利用例 2 (Professional 版以上 - データベースの利用) .....	13
設定方法 .....	13
レコードピッカーの使い方 .....	19
レコードピッカーの応用 .....	21
クエリプロンプトとの併用 .....	21

BarTender ではラベル発行時のデータ入力を可能にするデータ入力フォームを自由にデザインできます。  
バージョン 2016 からは 1 ファイル内で複数の入力フォームを利用できます。

**注意:** ドキュメントを以前のバージョンを指定して保存した場合、過去のバージョンに無かったコントロールは保存されません。

例: Bartender10.1 形式で保存した場合、スライダー、レコードピッカー、ドロップダウンテキストボックス、ワードプロセッサ入力ボックス、2 枚目以降のフォームは保存されません。

## 利用例 1

The screenshot shows the 'データ入力フォーム' (Data Entry Form) window for '製品ラベル発行画面' (Product Label Issuance Screen). The form contains the following fields and controls:

- 製品名を選択: VT750S (dropdown menu)
- LOTを入力: 0057567 (text box)
- 出荷日: 2016/03/22 (calendar picker)
- ☒ 至急 (checkbox)
- 発行枚数: 1 (spin box)
- 種別: ☒ 通常, ☐ 特注 (radio buttons)
- 製品名: VT750S, 種別: 通常, 出荷日: 2016/03/22, LOT: 0057567 (summary text)
- Barcode (0057567) and '至急' (Urgent) stamp (visual preview)
- 印刷 (Print) and キャンセル (Cancel) buttons

To the right of the form is a visual representation of the generated label, which includes the product name, type, shipping date, LOT number, barcode, and the '至急' (Urgent) stamp. A red arrow points from the '印刷' button in the form to the label preview.

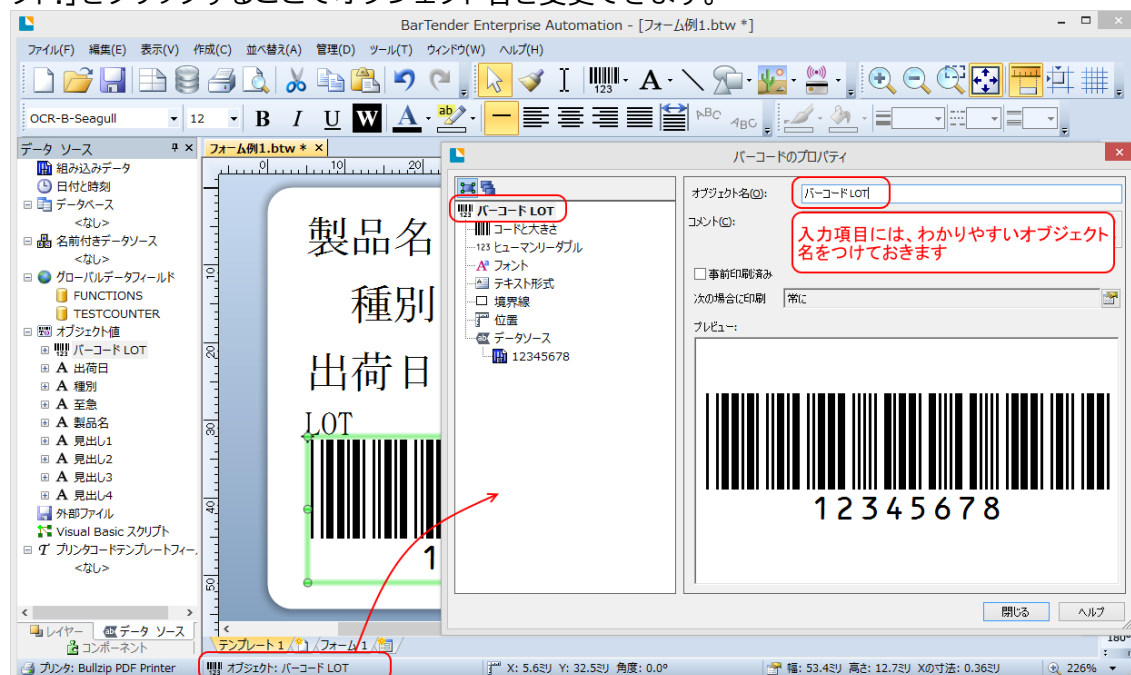
### 作成する機能:

- ・製品名は 3種類からドロップダウンで選択します。
- ・LOT はテキストボックスから入力します。
- ・出荷日は日付ピッカーからカレンダー入力します。
- ・種別は 通常・特注の2種類からラジオボタンで選択します。
- ・至急にチェックした場合のみ、至急と白抜きで印字します。
- ・発行枚数をフォームから入力します。

## 設定方法

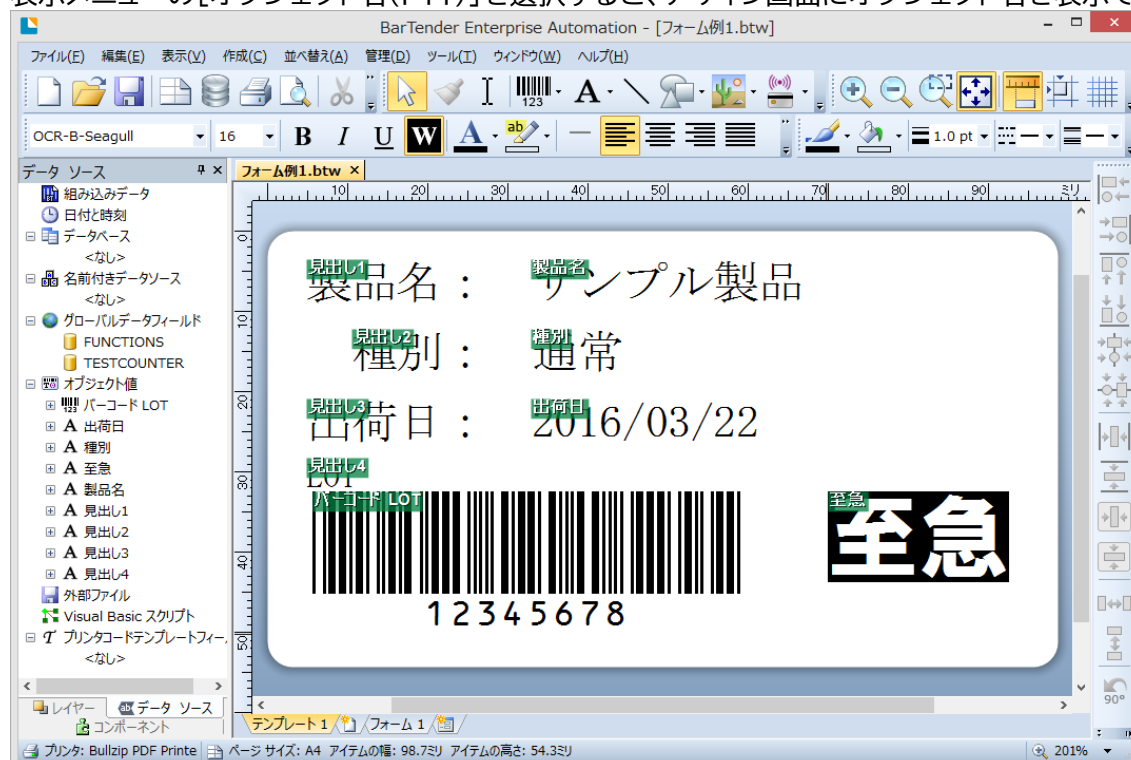
1. BarTenderで新規ドキュメントを作成し、テキストやバーコードを配置してラベルのレイアウトを作成します。

入力コントロールと紐づけるオブジェクトには、わかりやすいオブジェクト名を設定することをおすすめします。オブジェクトのプロパティの一番上の[オブジェクト名]または画面下ステータスバーの[オブジェクト:]をクリックすることでオブジェクト名を変更できます。

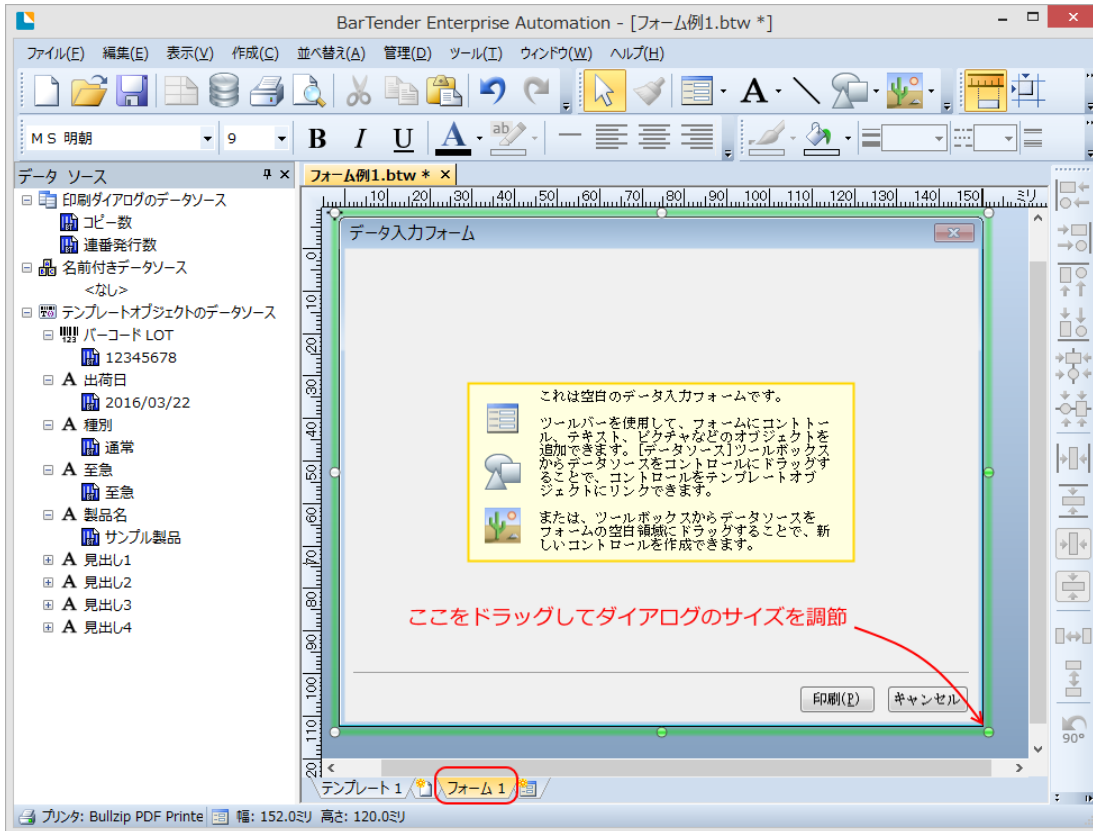


以下のようにオブジェクト名を設定しました。

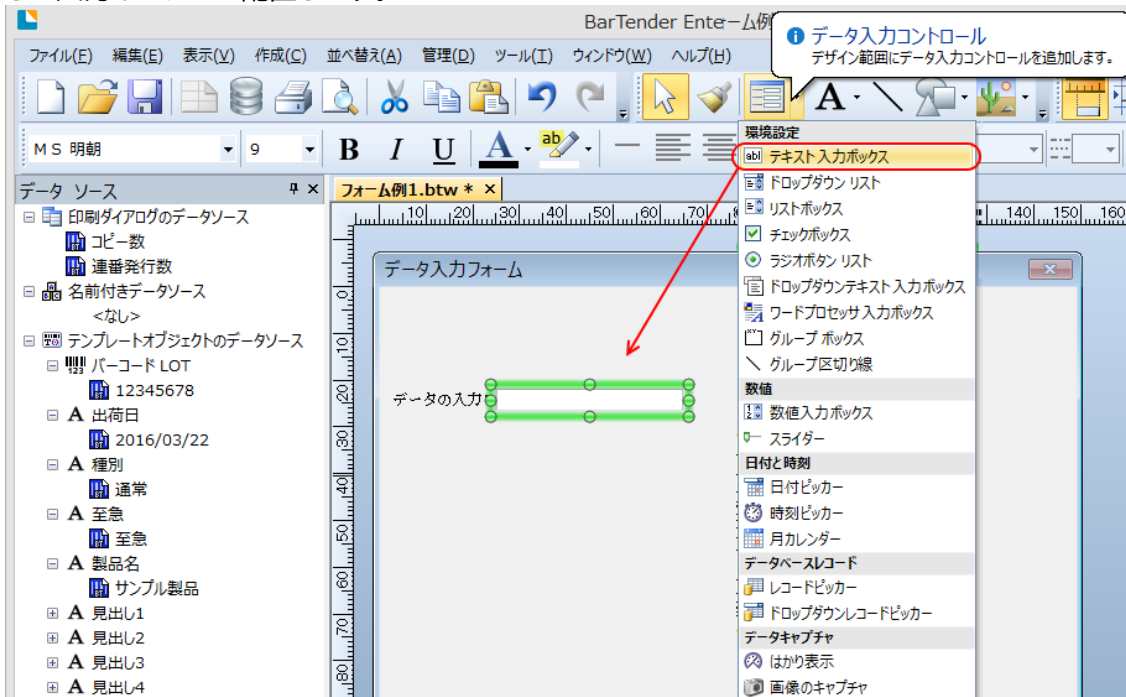
表示メニューの[オブジェクト名(F11)]を選択すると、デザイン画面にオブジェクト名を表示できます。



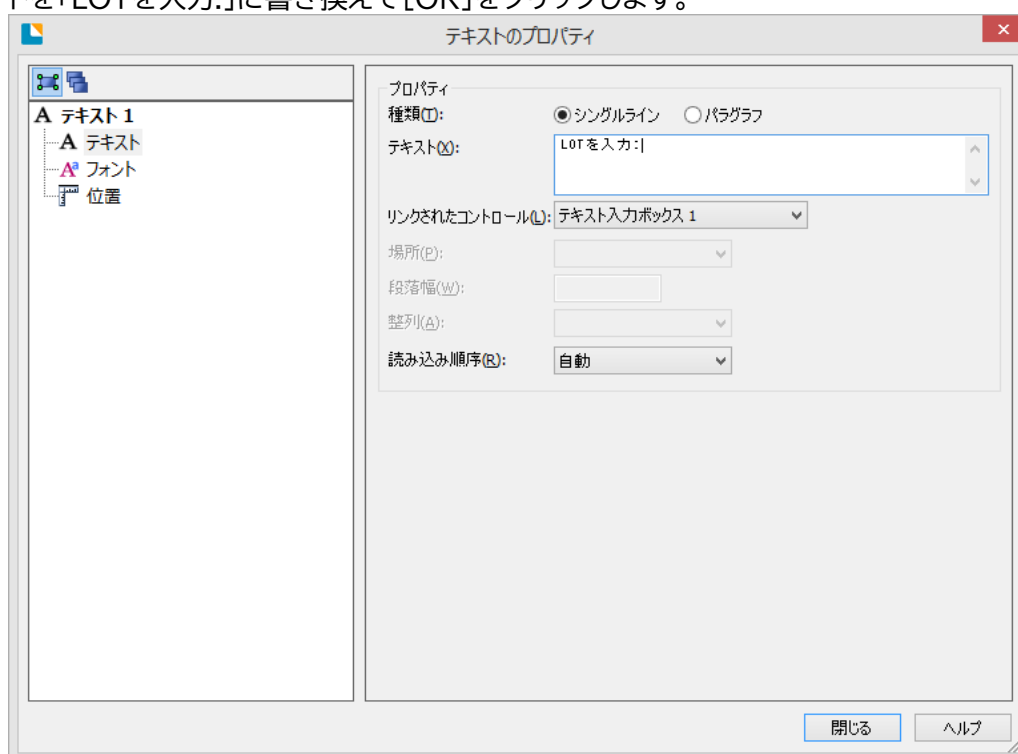
2. 下の[フォーム 1]タブをクリックして、フォームビューに移ります。



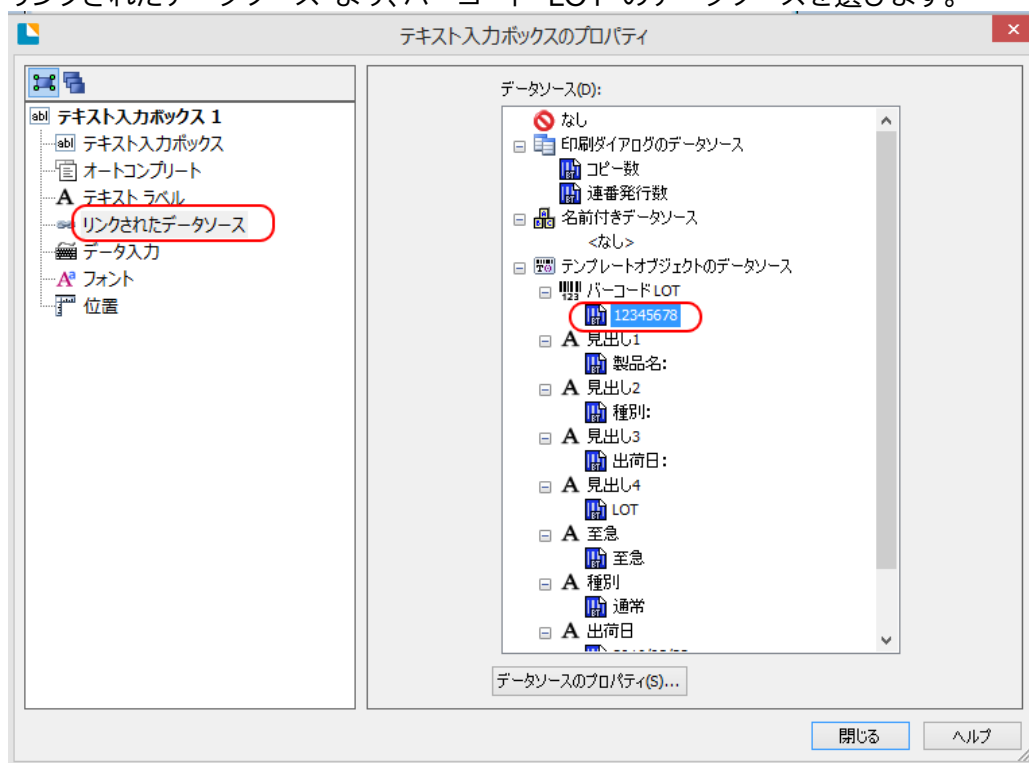
3. バーコード LOTに値を入力するテキスト入力ボックスを作成します。  
ツールバーのデータ入力コントロールボタンから[テキスト入力ボックス]を選び、フォーム上をクリックして入力ボックスを配置します。



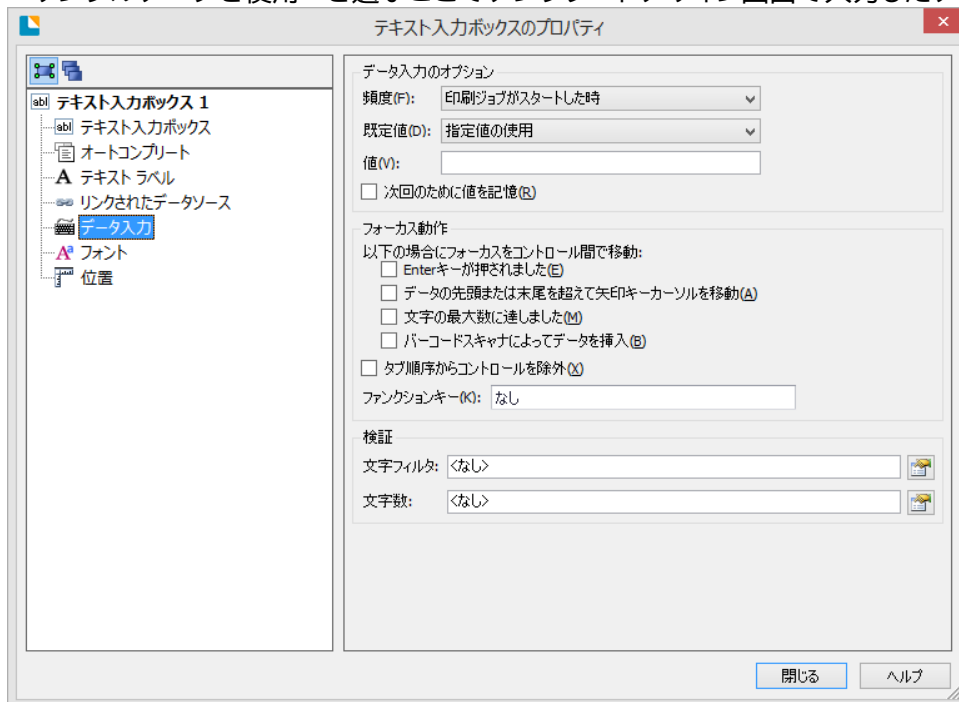
4. テキスト(見出し)を編集します。入力ボックスの横の[データを入力]をダブルクリックして開き、テキストを「LOTを入力:」に書き換えて[OK]をクリックします。



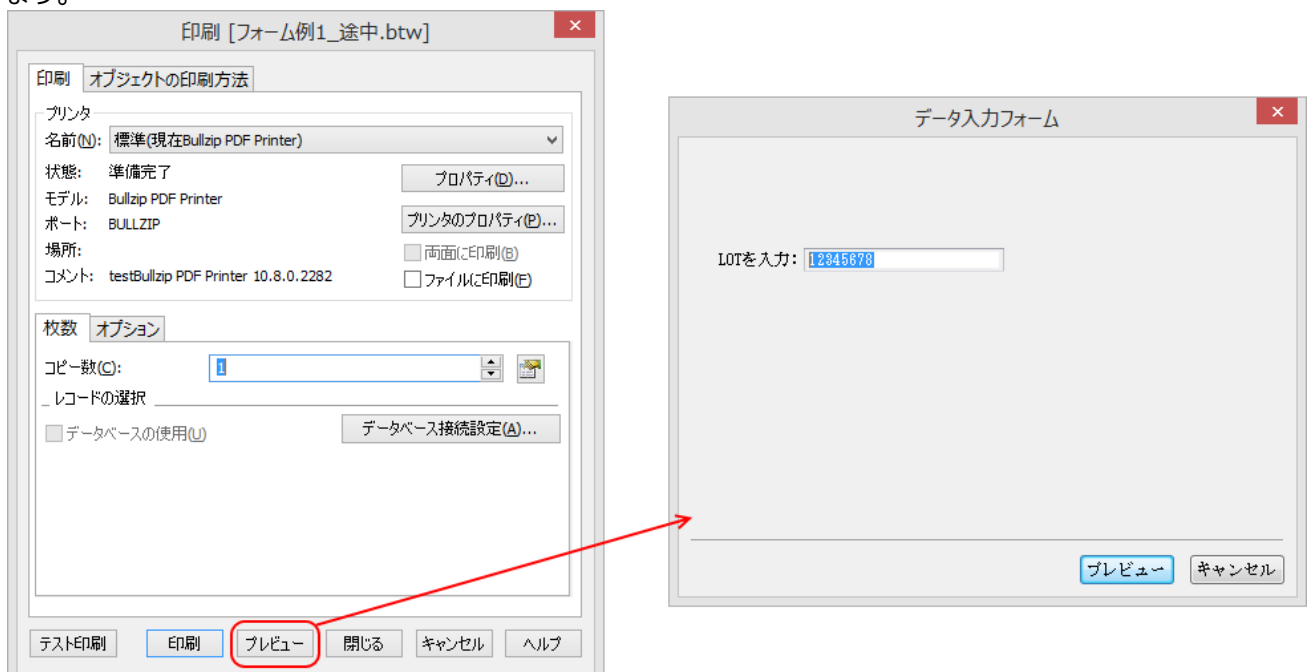
5. 入力ボックスをラベル上のテキストと関連付けます。  
リンクされたデータソース より、バーコード LOT のデータソースを選びます。



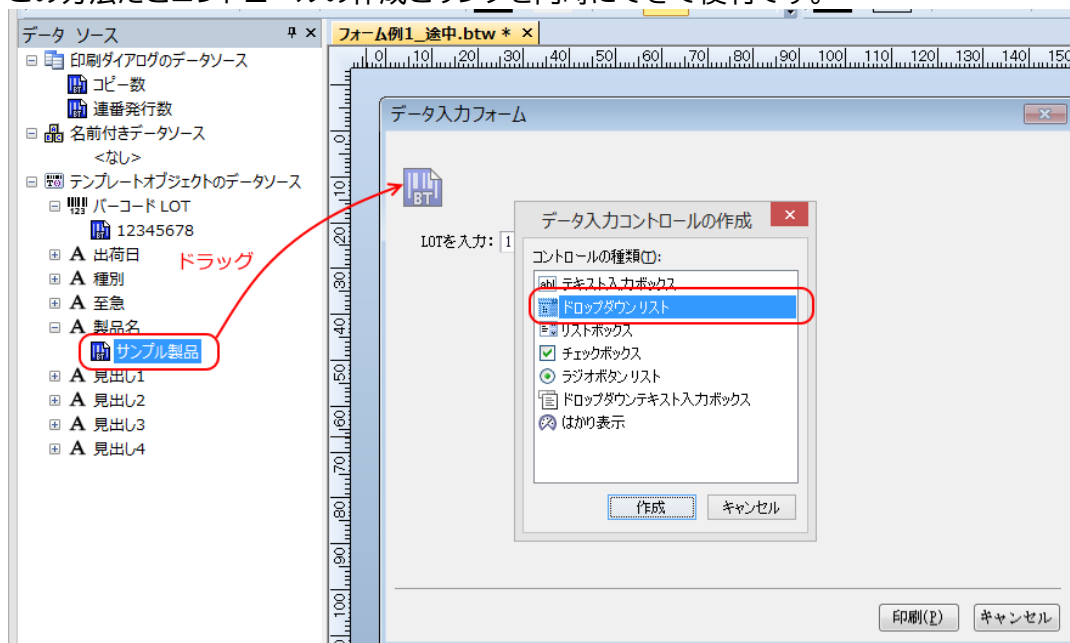
6. データ入力 より初期値を設定できます。＜指定値を使用＞を選択した場合初期値を指定できるほか、＜サンプルデータを使用＞を選ぶことでテンプレートデザイン画面で入力したデータを利用できます。



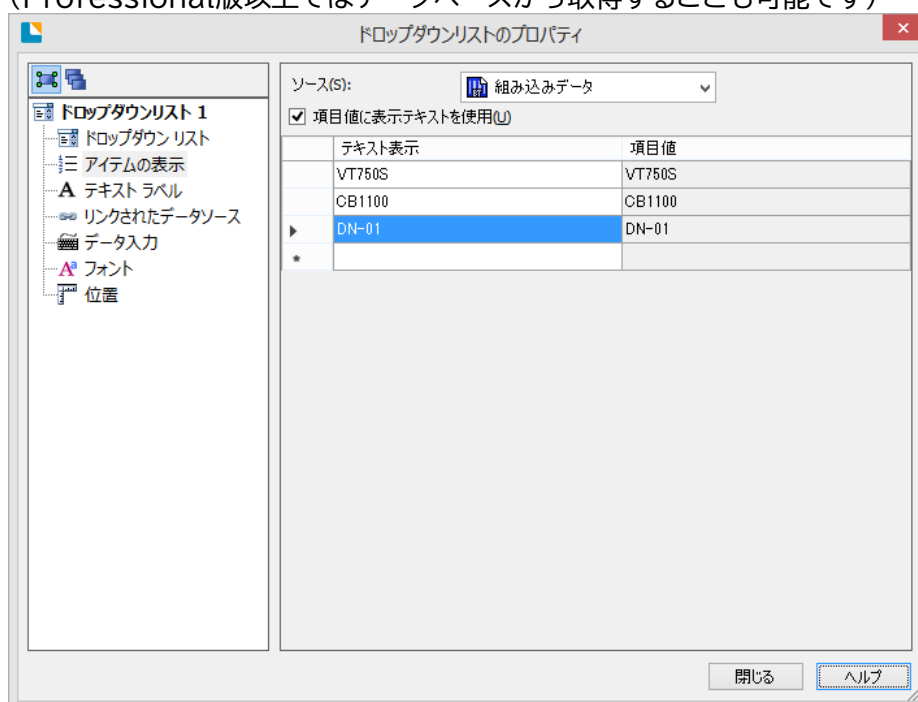
7. これでバーコード バーコードLOT の値が入力できるようになりました。ファイル > 印刷 > プレビュー と選択し、データ入力フォーム上で入力した値が印刷プレビューに反映されることを試してみましょう。



8. 製品名を選択するドロップダウンを作成します。  
 コントロールは、データソースを直接フォームにドラッグしても作成することができます。  
 左のデータソースツールボックスから、製品名の左の[+]をクリックしてデータソースを展開し、  
 製品名のデータソースをフォーム上にドラッグし、ドロップダウンリストを作成します。  
 この方法だとコントロールの作成とリンクを同時にできて便利です。

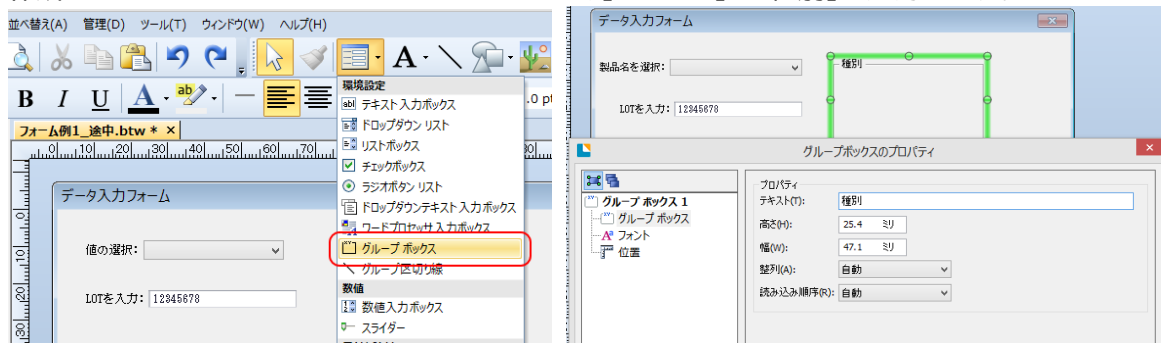


9. ドロップダウンの選択肢を作成します。ドロップダウンリストをダブルクリックしてプロパティを開き、  
 アイテムの表示 タブをクリックします。  
 ソースとして組み込みデータを選んだ場合、[テキスト表示]の下に、選択肢を入力していきます。  
 (Professional版以上ではデータベースから取得することも可能です)

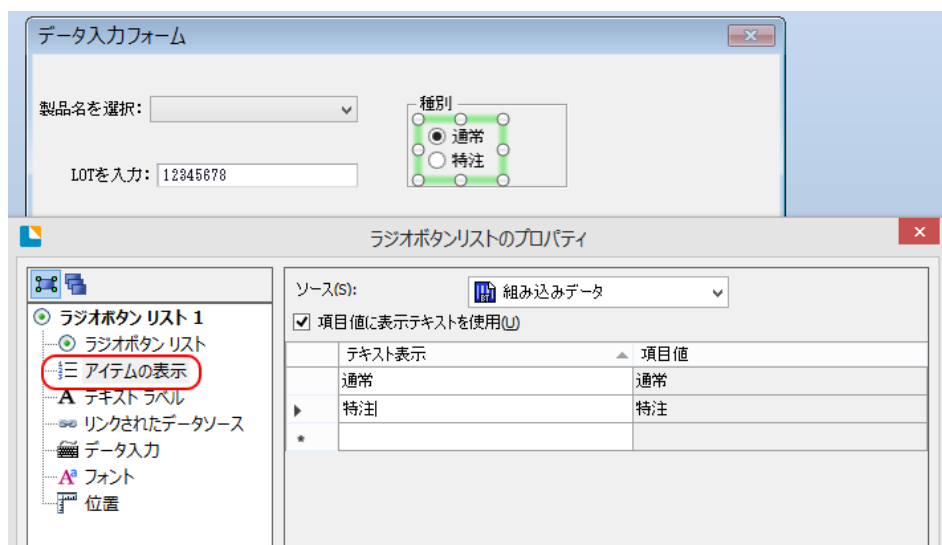
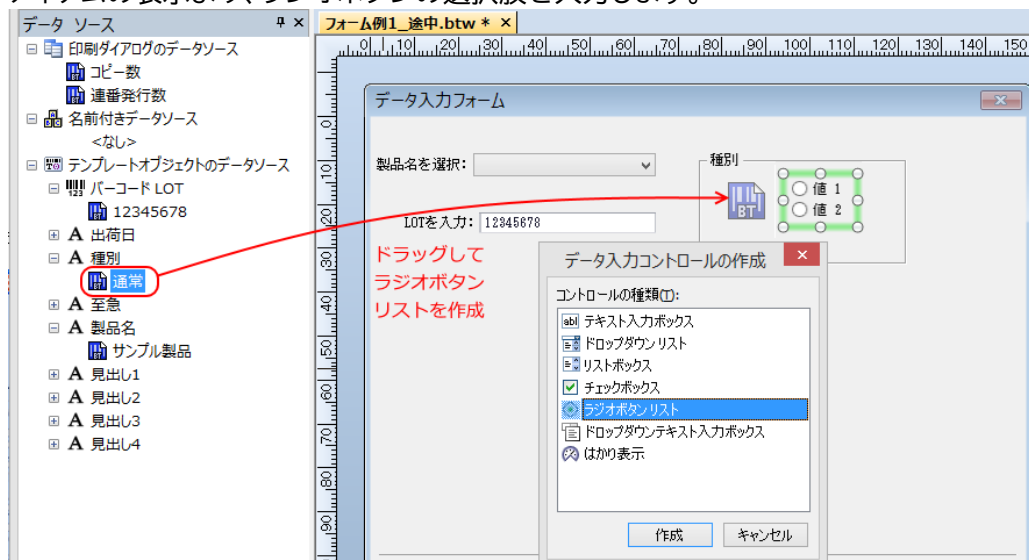


[項目値に表示テキストを使用]のチェックをはずすと、テキスト表示(選択肢)と項目値(ラベル上の値)を別々に設定することができます。(選択肢は男・女、ラベル上にはM・Fを印刷など)

10. 種別のラジオボタンを囲うグループボックスを作成します。コントロールツールボックスの[グループボックス]をラベル上にドラッグします。  
作成したグループボックスをダブルクリックして、[テキスト]に「種別」と入力します。

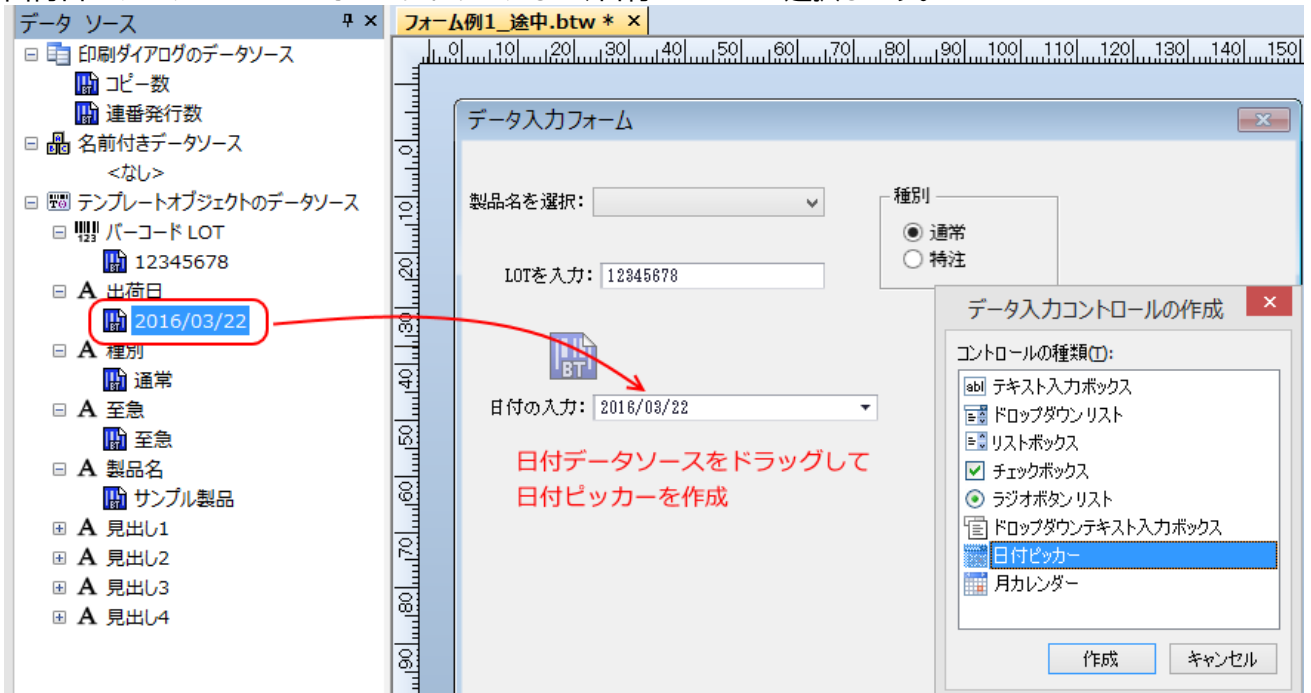


11. 種別のラジオボタンリストを作成します。作成したグループボックスの中に、データソースから 種別 のラジオボタンリストをドロップダウンリストと同様に作成し、テキスト[種別] のデータソース1と関連付けます。  
アイテムの表示より、ラジオボタンの選択肢を入力します。



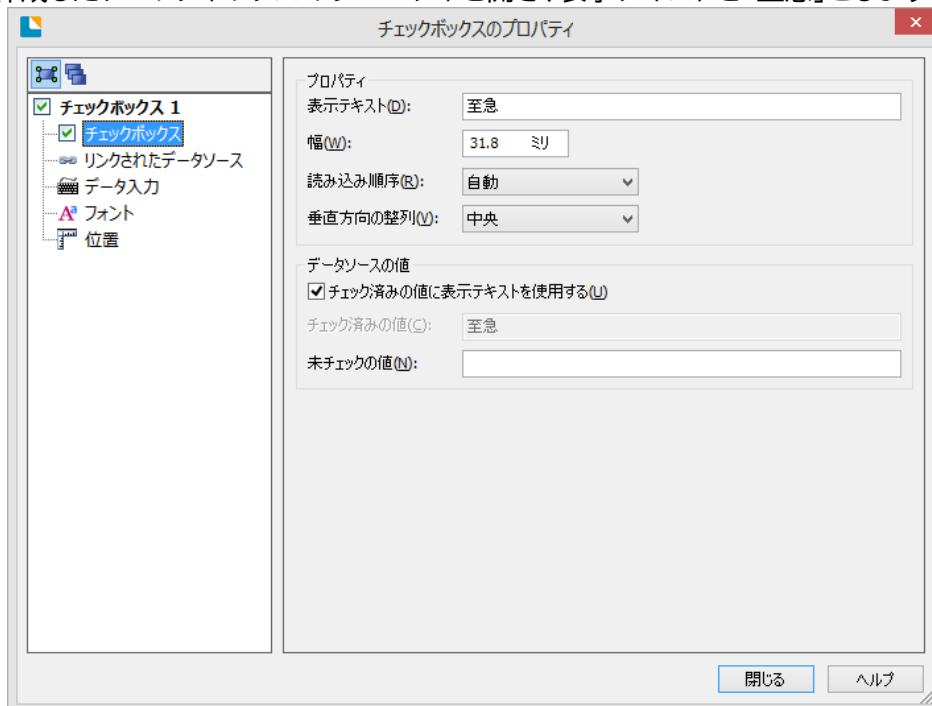
12. 出荷日の日付を入力する日付ピッカーを作成します。

出荷日のデータソースをフォームにドラッグして、日付ピッカーを選択します。



13. 至急のチェックボックスを作成します。テキスト[至急]のデータソースをフォームにドラッグして、チェックボックスを作成します。

作成したチェックボックスのプロパティを開き、表示テキストを「至急」とします。



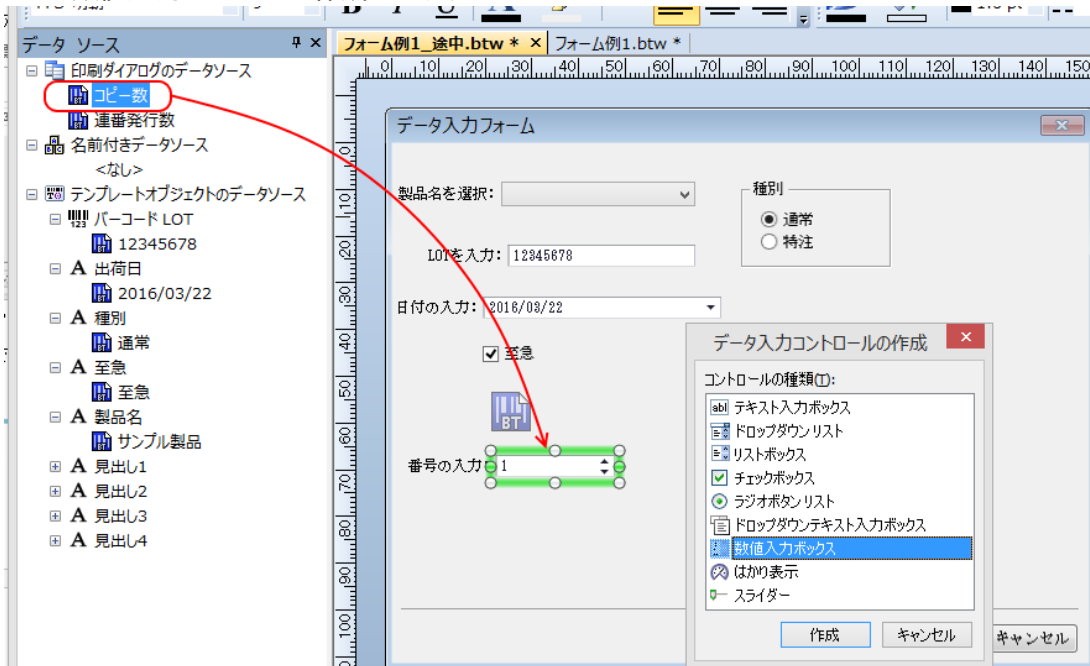
[チェック済みの値に表示テキストを使用する]のチェックをはずすと、フォーム上の表示とラベルの印字を別々の値にすることができます。

チェックしない場合は[未チェックの値]が選択されます。デフォルトでは空欄です。

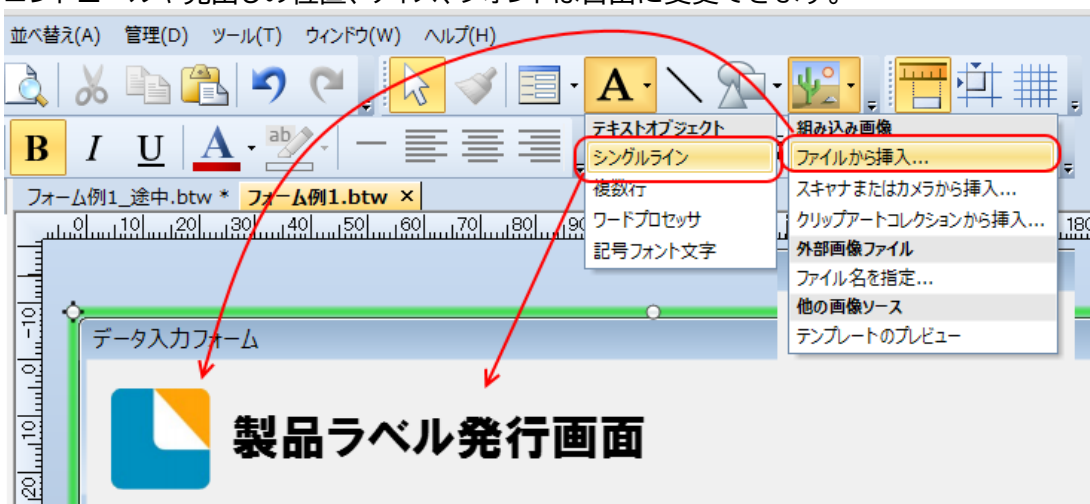


14. 発行枚数を入力する数値入力ボックスを作成します。

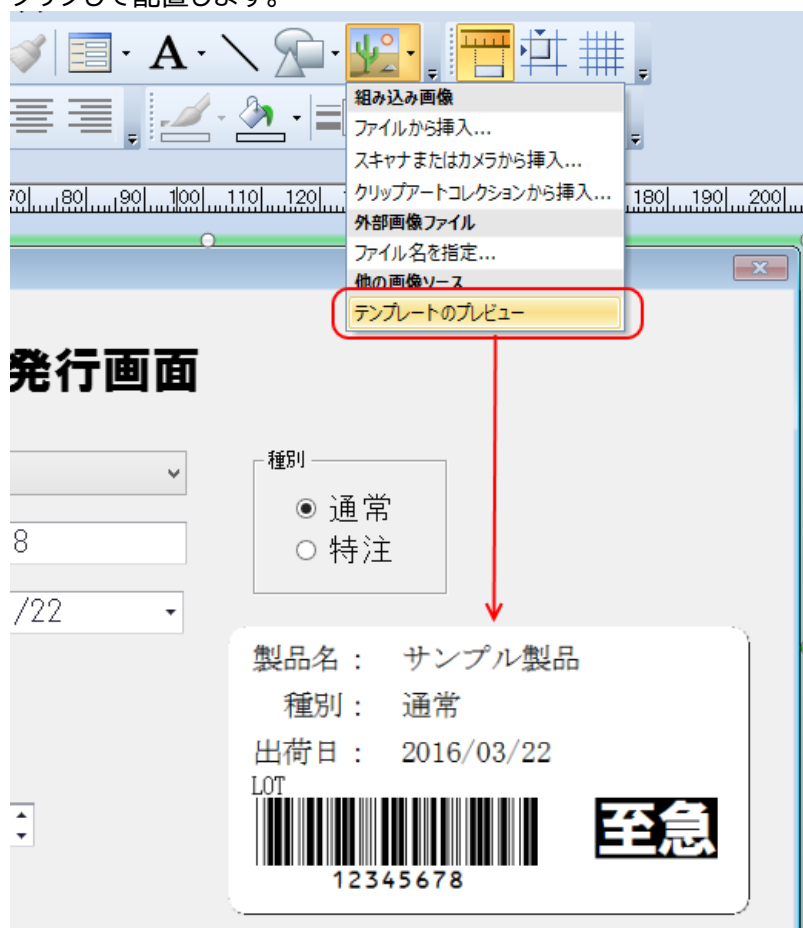
データソースツールボックスの、印刷ダイアログのデータソース より [コピー数]をフォーム上にドラッグし、数値入力ボックスを作成します。



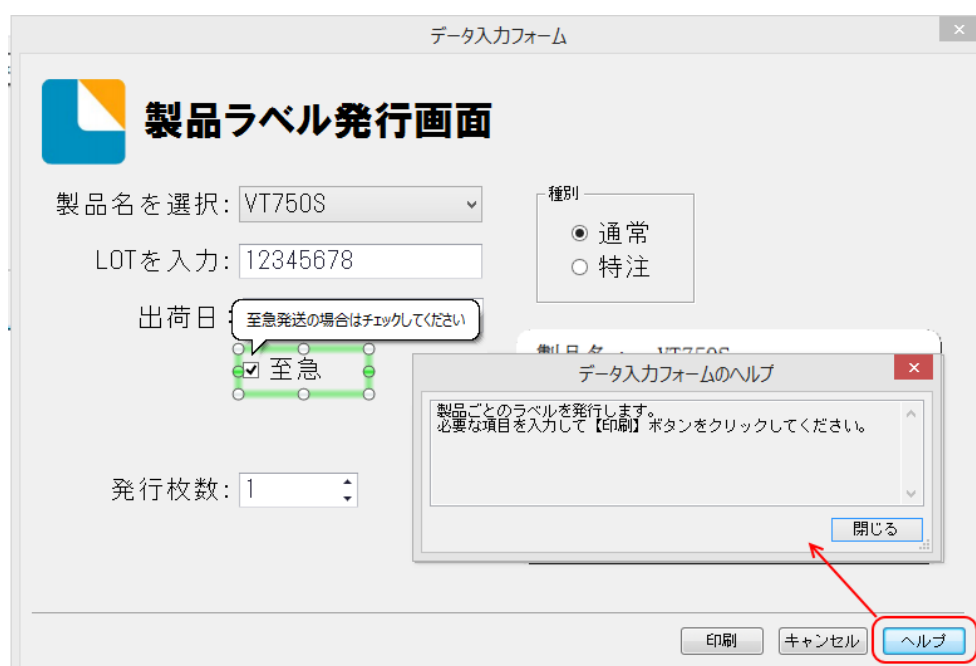
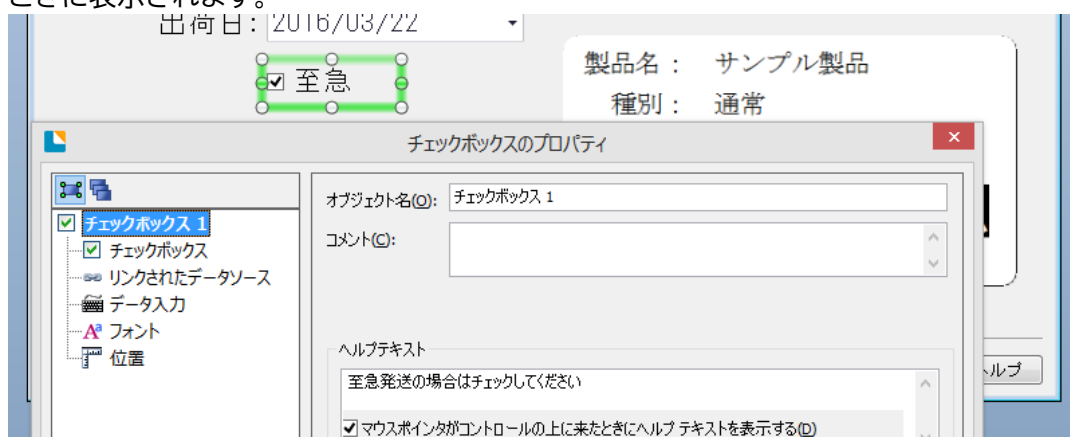
15. フォーム画面をよりわかりやすくするために、テキストやピクチャ(画像)を配置することができます。ツールバーのテキストアイコンやピクチャアイコンから配置してください。コントロールや見出しの位置、サイズ、フォントは自由に変更できます。



16. プレビュー画像を作成します。ツールバーのピクチャ>テンプレートのプレビュー を選び、フォーム上をクリックして配置します。

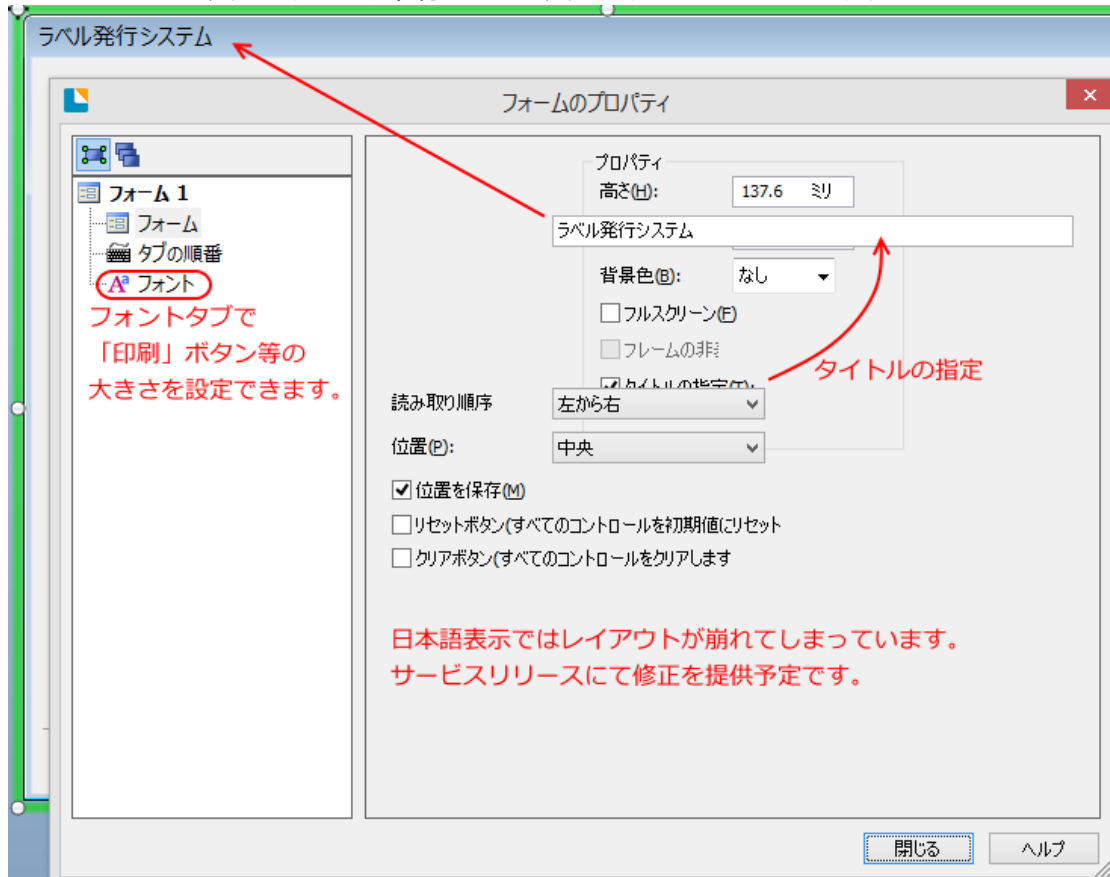


17. 各コントロールのプロパティで、コントロール別、およびデータ入力フォーム自体にヘルプテキストを設定できます。  
ヘルプはコントロールの上にマウスカーソルを合わせたとき、およびダイアログのヘルプボタンを押したときに表示されます。



18. フォームダイアログ自体のプロパティを設定するには、フォームをダブルクリックします。上記ヘルプテキストのほか、ダイアログ欄ではフォームのタイトルを任意のものを指定したり、ダイアログを全画面表示にすることができます

タブの順番 では、キーボード入力の際のコントロールの入力順序を指定することができます。  
フォント では、ボタンやヘルプテキストで利用されるフォントやフォントサイズを指定できます。  
フォントサイズを大きくすると、印刷ボタンを大きくすることができます。



19. ファイル > 印刷 でフォームが表示されます。  
入力した内容に応じて、プレビュー画面が変わります。  
[印刷]をクリックすると印刷できます。



## 利用例 2 (データベース接続との連携)

- ・Excelデータベース 出荷リスト.xls を一覧表示し、印刷したいレコードをクリックで選択します。
  - ・仕向先は 仕向先マスタ.xls の内容からドロップダウンリストで選択します。
- コントロールの作成方法など、基本的な操作は 利用例1を参考にしてください。

▼出荷リスト.xls

	A	B	C	D	E	F	G
1	ID	品名	生産者	産地	価格	JANCODE	入数
2	0001	なす	山岡陽士	埼玉県	420	204535002315	10
3	0002	なす	山岡陽士	埼玉県	3800	204535002318	100
4	0003	きゅうり	谷村秀夫	群馬県	820	204542002320	20
5	0004	だいこん	小泉鏡一	栃木県	970	204550002315	15
6	0005	だいこん	小泉鏡一	栃木県	8200	204550002318	150
7	0006	だいこん	岡星精一	群馬県	650	204511002312	10
8	0007	かぶ	山岡陽士	埼玉県	450	204535002318	8
9	0008	トマト	小泉鏡一	栃木県	220	204550002317	10
10	0009	トマト	小泉鏡一	栃木県	1950	204550002318	100
11	0010	トマト	岡星精一	群馬県	250	204511002317	10
12	0011	水菜	谷村秀夫	群馬県	350	204542002321	8
13	0012	長芋	谷村秀夫	群馬県	248	204542002322	4
14	0013	生しいたけ	岡星精一	群馬県	1620	204511002315	60

▼仕向先マスタ.xls

	A	B
1	仕向先	
2	北関東センター	
3	西東京センター	
4	東東京センター	
5	南関東センター	
6	中華人民共和国	
7	北米	
8		

データ入力フォーム

ラベルを印刷する製品を選択してください

Enter text to search...

ID	品名	産地	生産者	価格	入数	JANCODE	
1	0001	なす	埼玉県	山岡陽士	420	10	204535002315
2	0002	なす	埼玉県	山岡陽士	3800	100	204535002318
3	0003	きゅうり	群馬県	谷村秀夫	820	20	204542002320
4	0004	だいこん	栃木県	小泉鏡一	970	15	204550002315
5	0005	だいこん	栃木県	小泉鏡一	8200	150	204550002318
6	0006	だいこん	群馬県	岡星精一	650	10	204511002312
7	0007	かぶ	埼玉県	山岡陽士	450	8	204535002318
8	0008	トマト	栃木県	小泉鏡一	220	10	204550002317
9	0009	トマト	栃木県	小泉鏡一	1950	100	204550002318

レコード 6 / 13

仕向先: 西東京センター

発行枚数: 1

だいこん 西東京センター

産地: 群馬県 価格: 650  
生産者: 岡星精一 入数: 10

2 045110 023127

次へ(B) キャンセル

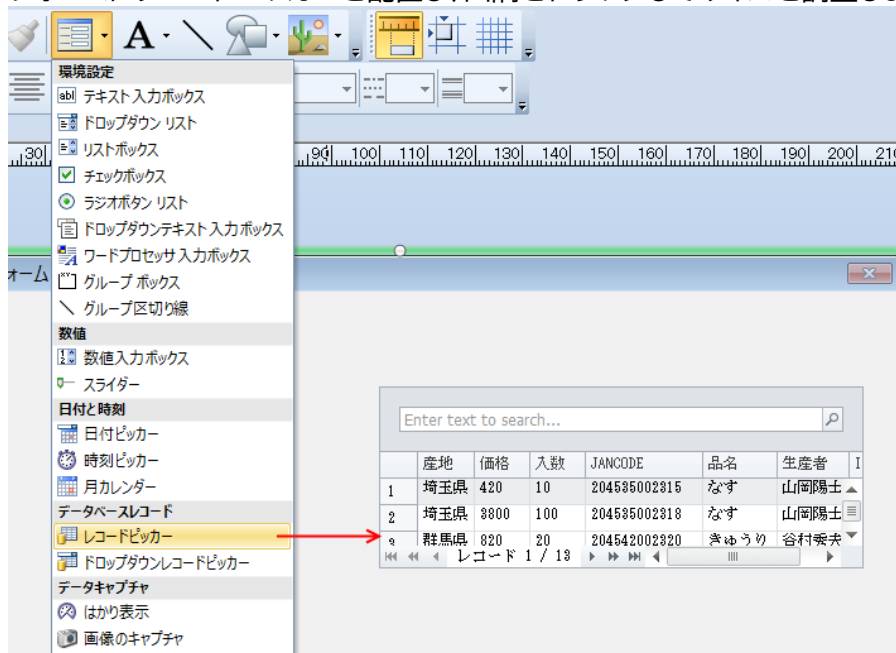


## 設定方法

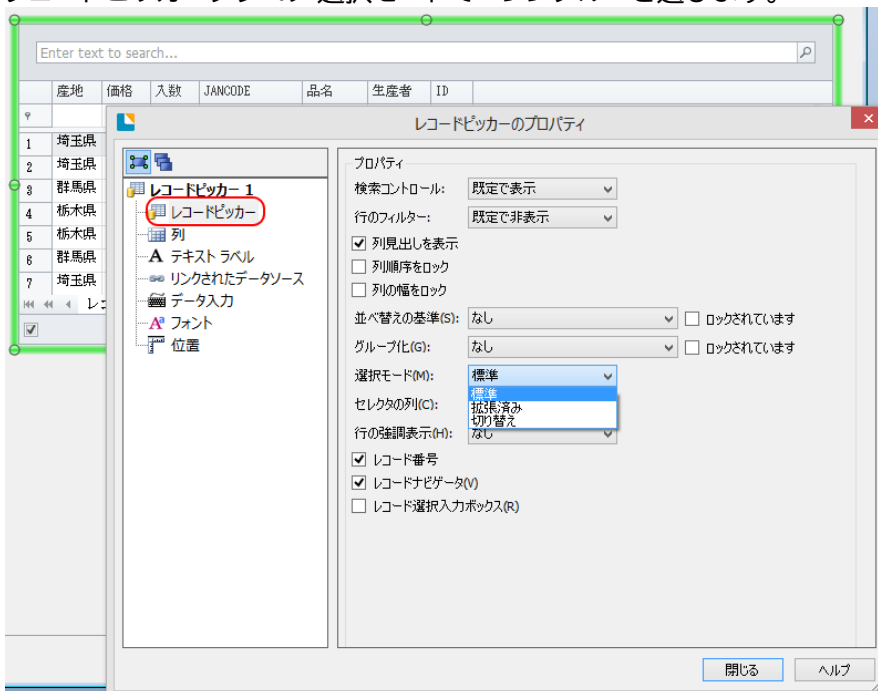
1. BarTenderで新規ドキュメントを作成し、テキストやバーコードを配置してラベルのレイアウトを作成します。
2. 出荷リスト.xls に対してデータベース接続を設定します。

3. 本作例では下図のようなドキュメントを用意しました。  
ドキュメントには 出荷リスト.xls への データベース接続が設定されています。  
データベース接続設定の方法は別文書 Excelへの接続(2016) を参考にしてください。  
▼緑: オブジェクト名 紫: データベースフィールド名 (表示メニューから表示/非表示できます)

4. フォームにレコードピッカーを配置し、四隅をドラッグしてサイズを調整します。

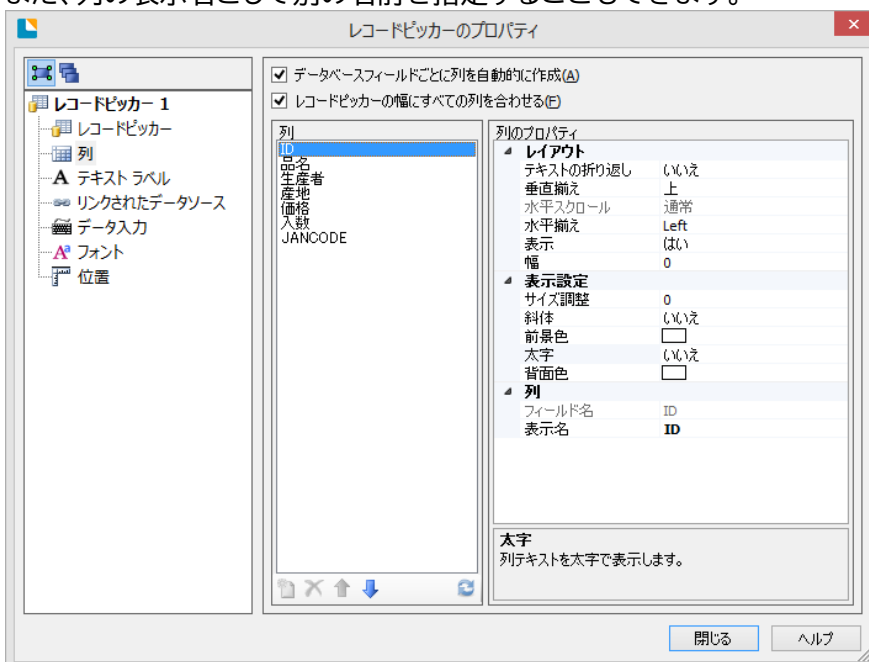


- レコードピッカーをダブルクリックしてプロパティを開きます。  
レコードピッカータブの 選択モードで<シングル>を選びます。

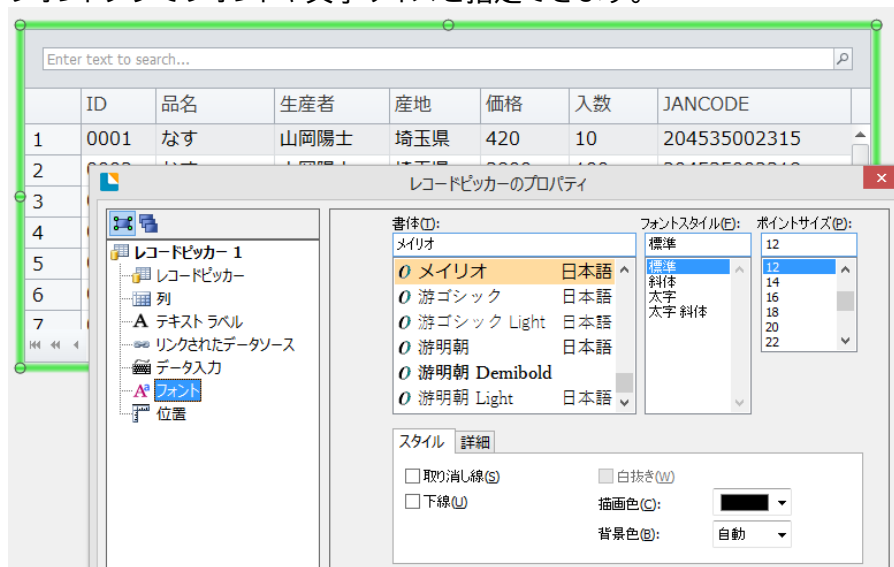


列順、列幅、並べ替え、グループ化などを設定することができます。  
(ロックしなければ、印刷時に変更できます)

- 列タブを開きます。  
列順を 下の ↑ ↓ ボタンで並べ替えることができます。  
[レコードピッカーの幅にすべてを合わせる]をチェックして、コントロールの幅にあわせて列幅を揃えます。  
[データベースフィールドごとに列を自動的に合わせる]のチェックを外すと、不要な列を削除して必要な列だけを表示することができます。  
また、列の表示名として別の名前を指定することもできます。

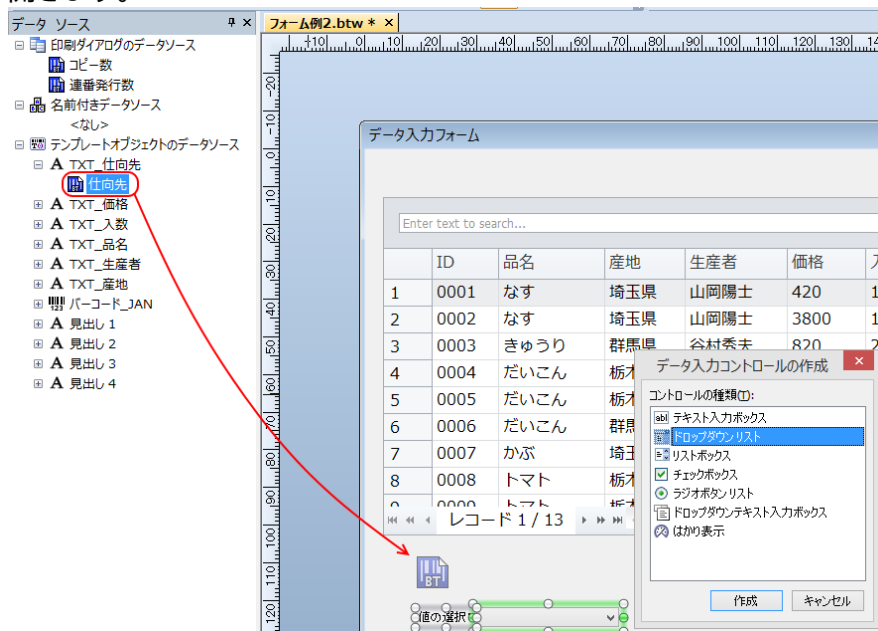


7. フォントタブでフォントや文字サイズを指定できます。



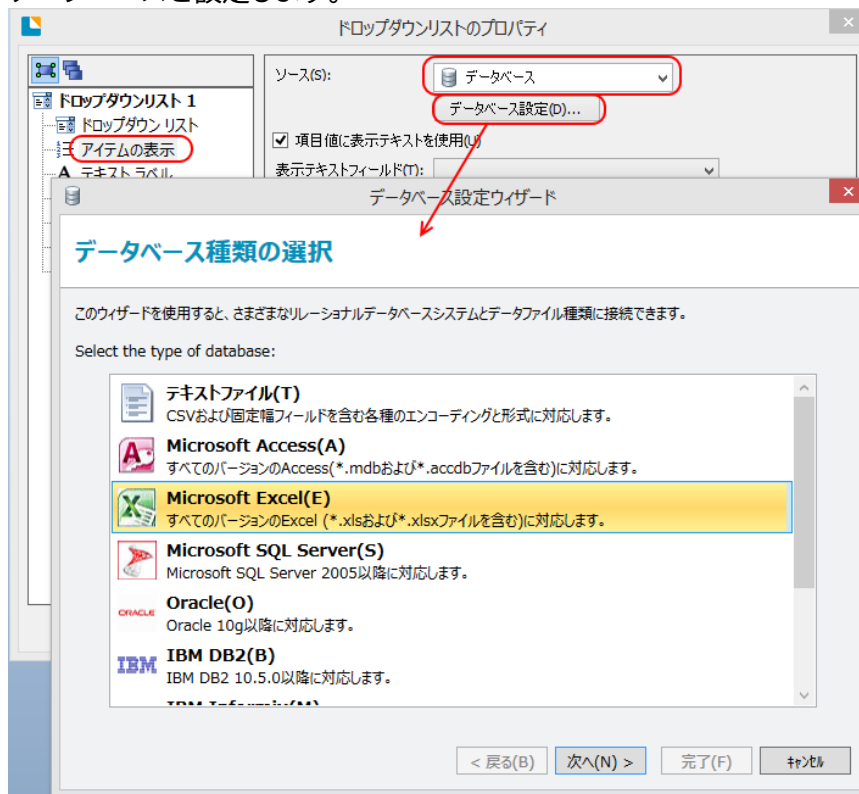
8. 仕向先のドロップダウンリストを作成します。

データソースから[仕向先]をフォーム上にドラッグして[ドロップダウンリスト]を作成し、プロパティを開きます。

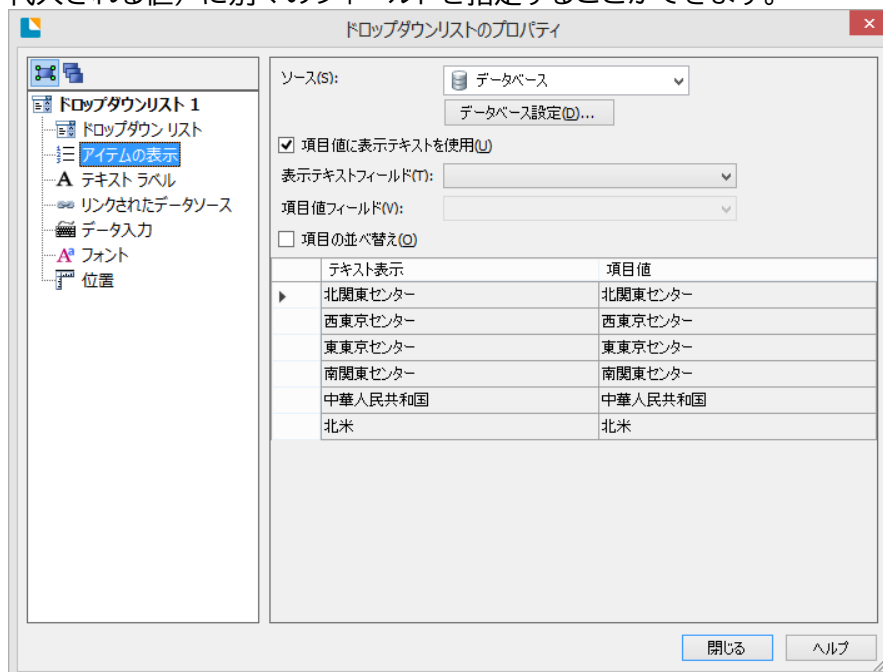




9. アイテムの表示タブで、ソースで[データベース]を選択します。  
このデータベース設定は、ドキュメントのデータベースとは別の設定になります。  
[データベース設定]より、接続先データベースを選択し、ウィザードにそってデータベースを設定します。



10. データベース設定ができると、項目値が表示されます。  
[項目値に表示テキストを使用(U)]のチェックを外すと、テキスト表示(選択肢)と 項目値(データソースに代入される値) に別々のフィールドを指定することができます。



11. データ入力タブで、必要に応じて規定値を指定することができます。

**ドロップダウンリストのプロパティ**

データ入力オプション

頻度(F): 印刷ジョブがスタートした時

既定値(D): 指定値の使用

値(V): 北関東センター

☐ 次回のために値を記憶(B)

フォーカス動作

以下の場合にフォーカスをコントロール間で移動:

☐ Enterキーが押されました(E)

☐ データの先頭または末尾を超えて矢印キーカーソルを移動(A)

☐ 文字の最大数に達しました(M)

☐ バーコードスキャンによってデータを挿入(B)

☐ タブ順序からコントロールを除外(X)

ファンクションキー(K): なし

検証

文字フィルタ: <なし>

文字数: <なし>

開じる ヘルプ

12. 発行枚数やラベルのプレビュー、見出しのテキストを配置して完成です。

**データ入力フォーム**

ラベルを印刷する製品を選択してください

Enter text to search...

	ID	品名	産地	生産者	価格	入数	JANCODE
1	0001	なす	埼玉県	山岡陽士	420	10	204535002315
2	0002	なす	埼玉県	山岡陽士	3800	100	204535002318
3	0003	きゅうり	群馬県	谷村秀夫	820	20	204542002320
4	0004	だいこん	栃木県	小泉鏡一	970	15	204550002315
5	0005	だいこん	栃木県	小泉鏡一	8200	150	204550002318
6	0006	だいこん	群馬県	岡星精一	650	10	204511002312
7	0007	かぶ	埼玉県	山岡陽士	450	8	204535002318
8	0008	トマト	栃木県	小泉鏡一	220	10	204550002317
9	0009	トマト	栃木県	小泉鏡一	1050	100	204550002319

レコード 1 / 13

仕向先:

発行枚数: 1

**なす** 仕向先

産地: 埼玉県 価格: 420  
生産者: 山岡陽士 入数: 10

2 045350 023154

印刷(P) キャンセル

## レコードピッカーの使い方

印刷するとレコードピッカーにレコードの一覧が表示されます。

上の検索ボックスに値を入力すると、その文字列を含むレコードを絞り込むことができます。

データ入力フォーム

ラベルを印刷する製品を選択してください

トマ

	ID	品名	産地	生産者	価格	入数	JANCODE
8	0008	トマト	栃木県	小泉鏡一	220	10	204550002317
9	0009	トマト	栃木県	小泉鏡一	1950	100	204550002318
10	0010	トマト	群馬県	岡星精一	250	10	204511002317

レコード 3 / 3

仕向先: 西東京センター

発行枚数: 1

**トマト** 西東京センター

産地: 群馬県 価格: 250  
生産者: 岡星精一 入数: 10



2 045110 023172

次へ(N) キャンセル

列名のところの漏斗のボタンをクリックすると、Excel のオートフィルタのように、列の値でレコードをフィルタできます。

▼産地が「埼玉県」のレコードを表示

Enter text to search...

	ID	品名	産地	生産者	価格	入数	JANCODE
1	0001	なす	埼玉県	山岡陽士	420	10	204550002315
2	0002	なす	埼玉県	山岡陽士	3800	100	204550002318
7	0007	かぶ	埼玉県	山岡陽士	450	8	204550002318

レコード 1 / 3

[x] [産地] = '埼玉県' フィルターを編集

レコードピッカーを右クリックして、[行の自動フィルタを表示]を選べと、列ごとに検索条件を指定できます。自動フィルタを常に表示するには、フォームデザイン画面のレコードピッカーのプロパティで、自動フィルタを[常に表示]とします。

検索語句をそのまま入力すると前方一致(～で始まる)

▼生産者が「谷村」で始まるレコードを表示

データ入力フォーム

ラベルを印刷する製品を選択してください

Enter text to search...

	ID	品名	産地	生産者	価格	入数	
▼				谷村			
12	0012	長芋	群馬県	谷村秀夫	248	4	
11	0011	水菜	群馬県	谷村秀夫	350	8	
3	0003	きゅうり	群馬県	谷村秀夫	820	20	204542002320

レコード 0 / 3

Starts with([生産者], '谷村')

フィルターを編集

右メニュー:

- グループボックスを表示
- Clear All Sorting
- Show Used Columns
- 列の選択
- ベストフィット (すべての列)
- フィルター エディタ...
- Hide Search Panel
- 行の自動フィルタを表示
- Refresh

検索語句の前に半角の % を入力すると部分一致(～を含む)で検索できます。

▼品名に「しいたけ」を含むレコードを表示

データ入力フォーム

ラベルを印刷する製品を選択してください

Enter text to search...

	ID	品名	産地	生産者	価格	入数	JANCODE
▼		%しいたけ					
13	0013	しいたけ	群馬県	岡星精一	1620	60	204511002315

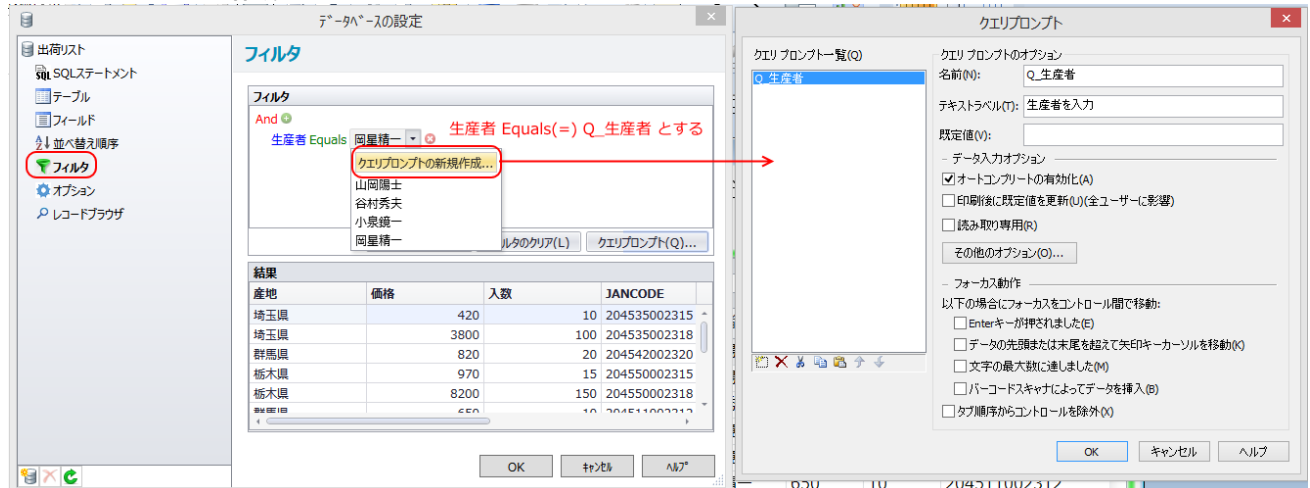
## レコードピッカーの応用

### クエリプロンプトとの併用

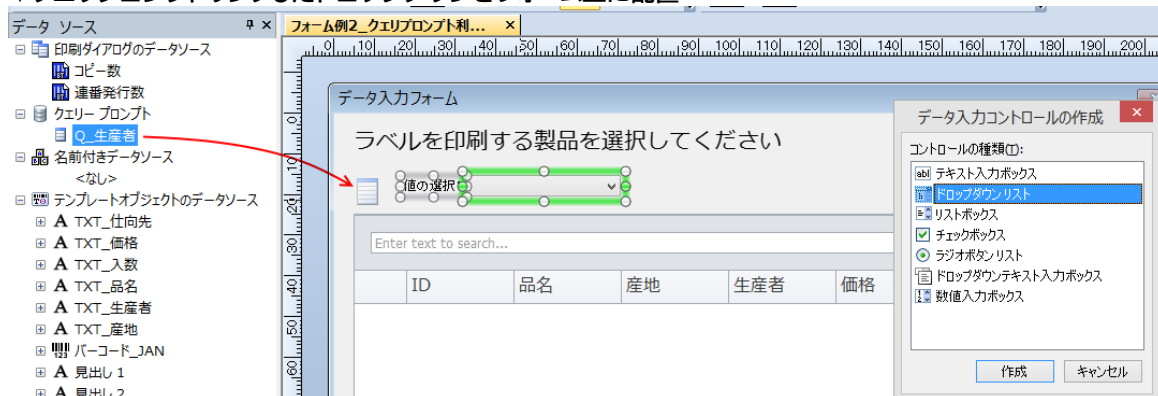
データベース設定のフィルタでクエリプロンプト(クエリ絞込用のユーザー入力)を設定し、それをフォーム上に配置することでレコードの絞込を行うことができます。

ドロップダウンリストに関連付けて絞り込みを設定したり、クエリで部分一致(Contains)条件としてテキスト入力ボックスに関連付けることでカスタムの検索フィールドを追加したりすることができます。

#### ▼クエリプロンプトの作成



#### ▼クエリプロンプトリンクしたドロップダウンをフォーム上に配置



#### ▼ドロップダウンでレコードを絞り込み（生産者が小泉鏡一のレコードのみを表示）

